

ぶん いみ ふく じよし つぎ
文にいろいろな意味を含ませる助詞には次のようなものがあります。

Particles used within sentences can perform a range of functions, as shown below.

助词在句中可以表达出丰富的含义，请参考下面的小结。

| じよし 助詞 | いみ 意味 | れいぶん 例文 |
|-----------|--|--|
| こそ | ほかとはっきり区別して強調する Emphatic particle corresponding to “precisely” when used to underline and differentiate a point. 表示唯一、排他 | こんど ゆうしょう 今度こそ優勝したい。 しりょう なが あいださが この資料こそ長い間探していたものだ。 おや じぶん こ 親だからこそ自分の子をきびしくしかるのだ。 |
| でも | きょくたん れい だ とうぜん あん 極端な例を出して、ほかは当然だと暗に示す Used to imply or show by extreme example that something is obvious. 用于提示极端事例，暗示其他事例自然不在话下。 | そんなことは子どもでも知っている。 ちい み お 小さなミスでも見落としてはいけない。 いもうと はじ あ ひと なか 妹は初めて会った人とでもすぐ仲よくなる。 |
| | ていあん いし いらい ぶん れい しめ 提案・意志・依頼などの文で例を示す Used in proposals, expressions of intent or requests, meaning “even if it is only ...” 表示某个建议、想法或请求。 | ちゃ の お茶でも飲みましょうか。 えいが み 映画でも見ようかな。 にもつ づえ うえ お 荷物は机の上にでも置いておいてください。 |
| も | まったくない」と強く否定する Emphatic negative, meaning “not even ~,” or “not ~ at all.” 表示对否定的强调 | にち やす がつこう かよ 1日も休まないで学校に通つた。 さいふ から えん のこ 財布は空っぽだ。1円も残っていない。 しゃしん み この写真、だれにも見せないでくださいよ。 |
| | きょくたん れい だ おな しめ 極端な例を出して、ほかも同じだと示す Used with extreme examples “even.” 用于提示极端事例，暗示其他事例与此相同 | あし いた た 足が痛くて立つこともできない。 こ ひづか かんじ か この子はもう難しい漢字も書ける。 たか やま うえ みせ こんなに高い山の上にも店がある。 |
| さえ | きょくたん れい だ ていど いがい きょう 極端な例を出して、程度の意外さを強調する Used with extreme examples that underline unexpected degree; “even.” 用于提示极端事例，表示说话人非常意外的语感 | れいぞう こ たまご はい 冷蔵庫には卵さえ入っていない。 たびず かれ ほつきよ 旅好きな彼は北極にさえ行ったことがある。 がくしゃ と もんだい しけん で 学者でさえ解けない問題が試験に出た。 |
| | ひつようさいていげん しめ 必要最低限を示す →第1部 6課-③ Indicates a minimum condition necessary (for something to happen); “if only.” 用于提示最必要或最低限度的事项 | じぶん 自分さえよければ、それでいいのですか。 あめ ふ はなび 雨さえ降らなければ、花火ができる。 ひと みち き まいご 人に道を聞きさえすれば、迷子にならないよ。 |



| | | |
|------------|---|---|
| まで | はんいひろいがいせいきょうちよう 範囲の広がりの意外性を強調する Emphasizes unexpected extent or scope of something; “even.” 表示涵盖范围之广出乎人的意料之外 | あかぼうな 赤ん坊が泣くと、わたしまで泣きたくなる。 しゃっきんたかくらまか 借金までして高い車を買わなくともいい。 あひとねんがじょうだ 会ったことがない人にまで年賀状を出した。 |
| ぐらい くらい | かるていどさいていげんしめ 軽い程度・最低限を示す Denotes a minimum level or extent. 用于提示程度最低的事项 | かんたんにほんごい 簡単なあいさつぐらいなら日本語で言える。 きょうすこさけの 今日は少しぐらいお酒を飲んでもいいね。 にちようびやす 日曜日ぐらい休ませてくださいよ。 |
| | おなていどれいしめ 同じ程度の例を示す →第1部3課-① Used to express similarity of extent or scale, by citing a similar example. 用于提示程度相仿的事项或事例 | たまごおおづく 卵ぐらいの大きさのパンを作った。 むすめおんなこな うちの娘ぐらいの女の子が泣いていた。 くるまかねだん この車はわたしにも買えるくらいの値段だ。 |
| など なんか | ていあんぶんきも 提案の文で、ほかにもあるという気持ちで案を示す Used to suggest something or raise alternatives; means “or something like that.” 用于委婉提出某项建议暗示尚有其它选择 | このふくにあ この服などいかがですか。似合いますよ。 しょくごくだものめあ 食後には果物など召し上がりませんか。 れんきゅうい 連休にどこかに行こうよ。ハワイなんかどう。 |
| | かるかんがけんそんきもあらわす 軽く考えること・謙遜の気持ちを表す Similar to above, but in a dismissive sense, meaning “not anything like that.” 表示轻蔑或谦虚 | れいい お礼など要りませんよ。 ダイエットなどしたくない。 わたしなんかまだまだ勉強が足りません。 |
| だけ | げんてい 限定する Expresses limitation; “only.” 表示限定 | わたしはどうぶつす わたしは動物が好きだが、へびだけはいやだ。 ははほんとうはなおも 母にだけは本当のことを話そうと思う。 かれだまきなにい 彼は黙って聞くだけで何も言わなかった。 |
| | はんいげんかいしめ 範囲の限界を示す “Only,” in the sense of limited range. 表示最大范围 | すた 好きなだけ食べてもいいよ。 かれいいかえ 彼は言いたいだけ言って帰ってしまった。 やれるだけのことはもうみんなやった。 |

*これらの助詞は、助詞のような働きをする言葉の後にもつく。

→第1部B

These particles can also be appended to words that function like particles (Part 1-B).

这些助词可以接在具有助词功能的形式(第1部B)后使用。

- 例・わたしは自分の国の歴史についてさえよく知らない。
 久美さんは親しい友だちに対してまで敬語を使う。



練習1

□から最も適当なものを選びなさい。

- a こそ b でも c さえ d まで e ぐらい f など g だけ

- 1 次の電車までまだ時間があるから、雑誌()読んで待つよう。
- 2 お父さんは出張で疲れているだろうから、寝たい()寝させてあげよう。
- 3 A「自転車を直してくれてありがとうございました。あの、おいくらでしょうか。」
B「いや、お金()要りませんよ。自転車屋じゃないんですから。」
- 4 道が込んでいて、自動車も自転車()のスピードでしか走れない。
- 5 毎朝電車で会う、名前()知らない人を好きになった。
- 6 A「本当に申し訳ありませんでした。」
B「いえ、わたしの方()大変失礼しました。」
- 7 自分のだけでなく、となりに座っていた人の資料()持ってきてしまった。

練習2

どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 あいさつぐらいちゃんと

| | | |
|--------------|---|-------------|
| a できなければだめだ。 | { | b できて偉いですね。 |
| | | |
- 2 その本は買っただけで、

| | | |
|-------------|---|-------------|
| a とても面白かった。 | { | b まだ読んでいない。 |
| | | |
- 3 の人となんか

| | | |
|-----------|---|--------------|
| a 早く会いたい。 | { | b 二度と会いたくない。 |
| | | |
- 4 この画家の名前は、全く絵に興味がない人でも

| | | |
|-------------|---|------------|
| a 知っているだろう。 | { | b 知らないだろう。 |
| | | |
- 5 苦手な漢字のテストが夢にまで

| | | |
|---------|---|----------|
| a 出てくる。 | { | b 出てこない。 |
| | | |
- 6 わたしはとなりに住んでいる人の顔さえ

| | | |
|------------|---|------------|
| a 見たことがある。 | { | b 見たことがない。 |
| | | |
- 7 その店にはわたしのほかに客は一人も

| | | |
|-------------|---|----------|
| a いたかもしれない。 | { | b いなかつた。 |
| | | |



ワンポイントレッスン 「も」と「しか」、「ぐらい・くらい」と「まで」

◎()の中に「も」か「しか」を書きなさい。

- 1 ここに住所を書くんですか。わたしはまだひらがな()書けません。ひらがなでいいですか。
- 2 ここに住所を書くんですか。わたしはまだひらがな()書けません。ローマ字でいいですか。
- 3 A「胃の検査をするので、朝から水()飲んでいないんです。」
B「あ、水を飲んだんですか。それじゃ、検査ができないと思いますよ。」
- 4 A「答えがわかった人はクラスで一人()いなかつたんです。」
B「え！ だれもわからなかつたんですか。」

◎()の中に「ぐらい」か「まで」を書きなさい。

- 5 母は30年も前の細かいこと()よく覚えている。
- 6 きのうのこと()忘れないで覚えていてくださいよ。
- 7 自分のこと()自分で考えなさい。
- 8 10年も前にもらった年賀状()大事にしまってある。

「も」と「しか」：「～も」は～を含む全部を否定する。「～しか」は～以外を否定する。

～も means “not a single,” including the ~ phrase, while ～しか means “everything else except the ~ phrase.” 使用「～も」时，所否定的是包括～在内的所有对象；但使用「～しか」时，所否定的是除了～以外的所有对象。

例 • 一日もひまはない。 I do not have a single day off.／一天空也没有。

• 一日しかひまはない。 I only get a single day off.／我只有一天空。

「ぐらい・くらい」：「ぐらい」は低い程度、「まで」は高い程度を表す。

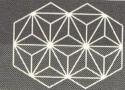
と「まで」 ぐらい denotes minimal ability (“can at least do something”), while まで denotes the opposite (“can even do something”).

「ぐらい」用于提示程度最低的事项；「まで」用于提示程度最高的事项。

例 • 卵焼きぐらい作れますよ。 I can (at least) cook fried eggs.／煎个鸡蛋还是会的。

• 母は豆腐まで自分で作る。 Mother can even make tofu.／妈妈连豆腐都自己做。

B 助詞のような働きをする言葉



1 ~について…

①すみません、入学手続きについて聞きたいのですが……。

②今、わたしの国の教育についてレポートを書いています。

③この作品についての感想を話していただけませんか。

名 +について

「～の内容・～に関係があることを…する。」～は話題を表す言葉。…は「思う・考える・話す・聞く・調べる・書く・説明する・知っている」などの動詞の文。

“… about, regarding …;” introduces a topic. The … phrase uses verbs such おもう, かんがえる, はなす, きく, しらべる, かく, せつめいする or しっている。

表示“～的内容”或“和～有关的”，后面多以动词结句。～用于提示话题，…为由「おもう・かんがえる・はなす・きく・しらべる・かく・せつめいする・しっている」等动词构成的小句。

2 ~に対して…・~に対する

A ①ホテルの人は客に対して非常にていねいな言葉を使う。

②父の意見に対して家族のみんなが反対した。

③新しく工場を作るため、会社側は近所の住民に対して理解を求めた。

④最近、政府に対する批判が大きくなっている。

名 +に対して

名 +に対する+名

「～に向けて…する・…という態度を示す。」…は～への行為や態度などを表す文(求める・文句を言う・感謝する・きびしい・親切だなど)。

No real English equivalent. Means “do something vis-à-vis, regarding,” or “have an attitude regarding;” used with words such as もとめる, もんくをいう, かんしゃする, きびしい or しんせつだ。

表示“对～，采取…的行为”或“对～，持…的态度”。…表示对～采取的行为或所持的态度，…常用的形式包括「もとめる・もんくをいう・かんしゃする・きびしい・しんせつだ」等。

B 今年、3月は雨の日が多かったのにに対して、4月は少なかった。

→第1部 4課-1

3 ~によって…

A ①『坊ちゃん』という小説は1906年に夏目漱石によって書かれた。

②この伝統的な祭りは昔からこの地方の人々によって守られてきた。



③ある無名の人によって作られたこの歌を、今ではみんなが歌っている。

名 +によって

→ **手** …は受身文。～はその行為をする人。主に生物以外のものが主語になる受身文の中で、行為をする人を言いたいときに使う。

Denotes passive voice (was … by ~); ~ indicates the agent. In passive sentences where the implied subject is inanimate, によって is often used to indicate the agent.
…为被动句形式，～为动作主体。该表达方式常见于无生物主语被动句，用于提示动作主体。

B ひと かん かた ちが 人によって感じ方が違う。

→ 第1部 2課-②

C タクシー代の値上げによって利用者が減った。

→ 第1部 5課-②

4 ~にとって…

①日本に住む留学生にとって円高は重大な問題だ。

②若い女性にとって買い物は楽しいことです。

③これはただの石ですが、わたしにとっては忘れられない思い出の品です。

名 +にとって

→ **手** 「～の立場から考えると…だ。」 …は形容詞を含む文が多い。

as far as ~ is concerned, …… is often a phrase containing an adjective.

表示“对～来说，…”。…多为使用形容词的小句。

5 ~として…

①リーさんは国費留学生として日本に来た。

②大山君はこの学校の代表として「平和を考える会議」に参加する。

③わたしはコーヒーカップを花びんとして使っています。

④この地方はお茶の産地として有名です。

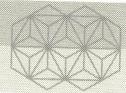


名 +として

→ **手** 「～という立場、資格、役割、名目で…。」

Means “from the viewpoint of, in the capacity of, in the role of, on behalf of, as a/the ~;”

表示“以～的身份、名义”或“作为～”。



練習1

□ から最も適当なものを選びなさい。

aについて bに対して cによって dにとって eとして

- 1 自分の両親()改めて感謝の言葉を伝える機会は、なかなかない。
- 2 父は数学の教師()中学校に勤めています。
- 3 この学校()インターネットで調べてみた。
- 4 風力発電は風の力()風車を回して、電気を起こすものだ。
- 5 この作家は1920年に医者の家の長男()生まれた。
- 6 今、日本文化()書いてある資料をいろいろ集めています。
- 7 ボランティアの皆さん()祭りの会場はもうすっかり整えられました。
- 8 ある人がつまらないと思うことが、ほかの人()は面白いということがある。
- 9 みかんが暖かい地方で作られるの()りんごは寒い地方で作られる。
- 10 成長期の子どもたち()眠ることはとても大切です。
- 11 服のデザインは時代()変わる。
- 12 これから今度の旅行の計画()ご説明いたします。
- 13 昔、コーヒーやお茶は薬()飲まれていた。
- 14 医学の発達()さまざまな病気が治るようになってきた。

練習2

どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 わたしはこの作曲家について

| | |
|------------|---|
| a とても好きです。 | { |
| b 何も知りません。 | |
- 2 このサービスは80歳以上の一
人暮らしの方に対して

| | |
|------------------|---|
| a 行われるものです。 | { |
| b とてもありがとうございます。 | |
- 3 わたしは今日

| | |
|------------|---|
| a リーさんに | { |
| b リーさんによつて | |

 誘わされて映画を見に行つた。
- 4 この問題はわたしにとって

| | |
|------------------|---|
| a よく考えなければなりません。 | { |
| b 簡単だとは言えません。 | |
- 5 まだ使えるものがごみとして

| | |
|--------------|---|
| a 捨てられている。 | { |
| b もつたいないと思う。 | |



ワンポイントレッスン 「～について」と「～に対して」と「～にとって」

◎ □ から最も適当なものを選びなさい。

a について b にとって c に対して

- 1 新しく来た先生()みんながうわさをしている。
 - 2 先生()その話し方は失礼だ。
 - 3 青山先生()学生たちは自分の子どものようなものだそうだ。
 - 4 今のわたし()必要なのは、静かに考える時間だ。
 - 5 あの市長()最も難しいのは、計画を住民に理解してもらうことだろう。
 - 6 あの市長()何かご存じですか。
 - 7 わたしたちはあの市長()計画の中止を求めた。
 - 8 あの市長はわたしたち市民()いつも偉そうな態度だ。
-

～について：～は思考に関係のある行為(思う・書く・話す・聞くなど)の内容を表す。

The ~ phrase describes something you have thought, heard or otherwise processed mentally (おもう, かく, はなす, きく, etc).

～为与思考有关的行为(「おもう・かく・はなす・きく」等)的内容。

例 親について文句を言う。(文句の内容は親に関係があること)

～に対して：～は行為(要求する・行うなど)や態度(親切だ・きびしいなど)が向けられる対象を表す。

The ~ phrase expresses the object of a demand or action (ようきゅうする, おこなう, etc), or of an attitude or judgment (しんせつだ or きびしい, etc).

～为行为(「ようきゅうする・おこなう」等)和态度(「しんせつだ・きびしい」等)的对象。

例 親に対して文句を言う。(文句を言う相手は親)

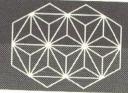
～にとって：～は判断や評価をする立場を表す。

The ~ phrase indicates the person making a judgment or evaluation.

～表示判断或评价方。

例 親にとって子どもの成長は何よりの喜びだ。(喜びだと考える人は親)

C 「こと・の」の使い方



「こと」「の」は両方同じように使える場合と、使い分けなければならない場合があります。
In some cases, こと and の may be used interchangeably, but in others they have separate, distinctive uses.
「こと」和「の」之间既存共性，也存在差异。用法相同时可以互换，存在差异时必须严格区分使用。

◆「こと」だけを使う場合（「の」は使わない）

a) 「～は…ことだ」の文で、～の内容を…で示すとき

こと only is used when … explains what ~ is in a ～は…ことだ sentence.
以「～は…ことだ」的形式表示“～的内容是…”时，只能用「こと」。

- 例・わたしの将来の夢は、漫画家になること(の)です。(将来の夢=漫画家になること)
 ・サッカーというスポーツの特徴は、基本的に手を使つてはいけないこと(の)だ。
 ・AランチとBランチの違いは、Aが魚料理でBが肉料理であること(の)だ。

b) 「こと」を使う文法形式 Grammatical forms using こと./由「こと」构成的语法形式

～ことがある ⇒「たまに～の場合がある。」

①妻はぼくが話しかけても返事をしないことがある。

②以前は仕事が多くて、12時ごろ家に帰ることもあった。

❖ 動辞書形／ない形 + ことがある

～ことはない ⇒「～する必要はない・～しなくてもいい。」

①面接の質問は簡単ですよ。そんなに心配することはありませんよ。

②少し熱があるが、ただのかぜだろう。すぐに病院に行くことはない。

❖ 動辞書形 + ことはない

～ということだ・～とのことだ

→第1部 7課-①

～ないことない

→第1部 8課-④

～ことは～が、…

→第1部 8課-⑤

～こと

→第1部 10課-②

～ことにする・～ことにしている

→第1部 11課-①、第1部 G

～ことになる・～ことになっている

→第1部 G



◆「の」だけを使う場合（「こと」は使わない）

a) 感覚でとらえた音や光景などを言うとき（「見る・見える・眺める・聞こえる・感じるなど」の動詞を使う。）

only is used when sounds, sights, etc. are registered by the speaker using his senses; (used with verbs such as みる, みえる, ながめる, きこえる or かんじる).

表示自己亲身感知到的声音或情景时，只能用「の」。此时句子的主动词多为「みる・みえる・ながめる・きこえる・かんじる」等。

例・この窓から庭で子どもたちが遊んでいるの（二七）が見える。

・あの日、家が大きく揺れるの（二七）を感じた。

b) 「～のに（は）…」の文で、～という目的についての評価（便利だ・役に立つなど）を…で言う

→第3部 1課

とき

only is used when, in a sentence using ～のに…, the speaker wishes to express an opinion (…) about an object (~), using words such as べんりだ or やくにたつ。
以「～のに…」的形式，表示对想实现的事项～的评价时，只能用「の」。此时，…为表示说话人的评价的小句，如「べんりだ・やくにたつ」等。

例・車はこの村で生活するの（二七）にどうしても必要なのだ。

・短時間で食事をするの（二七）にはファストフードがやはり便利だ。

c) 「～のは…だ」の文で、強調したい情報を…で示すとき

→第3部 1課

only is used when the speaker wishes to emphasize information in … in a sentence using the ～のは…だ pattern.

以「～のは…だ」的形式，表示说话人想强调的内容是…时，只能用「の」。

例・彼女に初めて会ったの（二七）は5年前である。（5年前に彼女に会った。）

・遅く帰ったの（二七）は残業があったからだ。

d) 「の」を使う文法形式 Grammatical forms using の./由「の」构成的语法形式

～というのは…だ ⇒ 「～の意味は…だ。」

① 正三角形 というのは三辺の長さが同じ三角形のことである。

② 「アクセスする」というのはどんな意味ですか。

 名 + というのは…だ

～のではないか・～のではないだろうか ⇒ 「～と思う。」

① こんなに塩辛い食品は体によくないのではないか。

② もしかしたらヤンさんは本当のことを知っているのではないかでしょうか。

 普通形 (名形だ - な・名だ - な) + のではないか・のではないだろうか



練習1

適当なものを選びなさい。(一つの場合も二つの場合もあります。)

- 1 失敗の原因は、しっかり ひと ぱい ふた ぱい
- | |
|----------------|
| a 準備をしなかったのです。 |
| b 準備しませんでした。 |
| c 準備しなかつたことです。 |

- 2 わたしは木の下で み
- | |
|------------|
| a みんなが踊るの |
| b みんなが踊ること |
| c みんなの踊り |

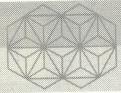
- 3 い
- | |
|-----------|
| a 食事に |
| b 食事をするのに |
| c 食事をしに |

- 4 きみ しょうらい かんが い
- | |
|-----------|
| a 泣くのはない |
| b 泣くことはない |
| c 泣かないの |

練習2

() 中に「の」か「こと」を書きなさい。

- 1 パソコンはグラフを作る()に役立つ。
- 2 わたしはホテルの窓から夕日が沈む()を見ていた。
- 3 電車が遅れる()もあるので、早めに家を出たほうがいい。
- 4 彼の欠点は時間を守らない()だ。
- 5 わたしが泳げるようになった()は、30歳のときなんです。
- 6 氷点という()は水が氷になる、または氷が水になる温度のことである。
- 7 わたしがたばこをやめた()は、赤ん坊のことを心配したからだ。
- 8 憄てる()はない。時間はまだ十分ある。
- 9 これからはますます就職が難しくなる()ではないか。
- 10 この道具は短時間で野菜を細かく切る()に便利だ。
- 11 特別賞をもらった()はわたしではなくて、ヤンさんという人です。
- 12 あれ? あっちの方からだれかが呼んでいる()が聞こえませんか。



ワンポイントレッスン 「物」と「こと」

◎()の中に「物」か「こと」を書きなさい。

- 1 由美が作る()はいつもとてもおいしいね。
 - 2 おいしい料理を作る()はとても楽しい。
 - 3 子どもを育てるという()をわたしは大切に考えています。
 - 4 これは何という()ですか。触ってみてもいいですか。
 - 5 子どものころ祖母にいつも言っていた()を思い出した。
 - 6 友だちに「持ってきてね」と言っていた()を家に置いてきてしまった。
 - 7 この作文は先週自習の時間に書いた()です。
 - 8 先週作文に書いた()は、全部本当です。
 - 9 今日やりたいのは、ここに置いてある(①)を片付ける(②)です。
-▼.....

物： 形がある、目で実際に見える実体

Something that has shape and is physically visible to the eye.

有具体的的外形，是眼睛能看到的实体。

例・ちょっと見てください。これ、きのう話した物です。

・何か食べる物はありませんか。

・昔、おじが外国で買ってきてくれた物を今でも大切にしている。

こと：形がなく、目で見えない内容

Something lacking shape, and invisible to the eye.

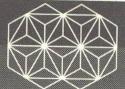
没有具体的的外形，是抽象的内容，肉眼无法感知。

例・きのうわたしが話したことは全部本当ですよ。

・わたしたちだけでおいしい物を食べることは、お父さんにはだまされていよう。

・昔、おじが外国からお土産を買ってきてくれたことをよく覚えている。

D 「よう」のいろいろな使い方



「よう」を使った文法形式は「似ていることを表すもの」と「期待すること・要求することを表すもの」の二つの意味に分けられます。

There are two main uses for よう: to express similarity, and to express expectation of or a demand for something.
「よう」有两大用法，分别表示比喻、比况和愿望、祈使。

1

～(かの)ようだ・～のようだ・～(かの)ように…・～のように…

→第1部 J

⇒よく似ているものに例えて言う

Used to illustrate how something resembles something else, or to illustrate by metaphor.／表示比喩

- ①今日は暖かくて、まるで春が来たかのようだ。
- ②朝から晩までロボットのように働いた。
- ③バケツをひっくり返したような雨だった。

名の + ようだ・ように

*③は名詞につく形。

名だ - である + カのような・かのよう

動普通形 + (かの)ようだ・(かの)ように

2

～ように…

A ⇒ 大体同じであることを表す Indicates that something is roughly the same.／表示比况

- ①人間のよう、植物にも栄養が必要だ。
- ②母親が明るい人だったように、その娘たちも性格が明るい。
- ③わたしたちはあなたが想像しているような関係ではありませんよ。

名の・普通形(ナ形だ - な / - である・名だ - である) + ように

*③は名詞につく形。

B ⇒ 例を示す Cite as an example.／表示举例

- ①日本語のよう、使う文字が3種類もある言語は珍しい。
- ②わたしはにんじんやピーマンのような濃い色の野菜が好きだ。
- ③林さんは優しい。林さんのような人とつき合いたい。

名の + ように

*②③は名詞につく形。



3 ~ように…

A ⇒ …の内容がすでに知られていると前置きする

Used at the front of a sentence, indicates that something is already understood or known.

用于句首，表示“…的内容为已知信息”。

①前にも話したように、来週はわたしは日本にいません。

②今朝の新聞に書いてあったように、今年は米のできがいいらしい。

③ご存じのように、日本は台風が多い国です。

⌚動 辞書形／た形／ている + ように *③は慣用的な言い方なので接続は例外的。

B ⇒ 期待することを表す。 Expresses a hope or wish.／表示愿望

①よく眠れるようにワインを少し飲んだ。

②池田さんは難しい社会問題をだれにでもわかるように説明する。

③赤ん坊が目を覚まさないようにテレビの音を小さくした。

⌚動 辞書形／ない形 + ように *話者の意志を表さない動詞を使う。

4 ~ように…～ようにと…～よう…

⇒要求することを表す Expresses a demand or request.／表示祈使の内容

①雑誌を買ってくるように頼まれた。

②電車の中では携帯電話で話さないようにと注意された。

③今週中にご返信くださいますよう、お願ひ申し上げます。

④試験に合格できますように。(祈るときの言い方)

⌚動 辞書形／ない形 + ように・ようにと・よう

*③④のように、ていねいなお願いの場合はます形を使うこともある。

～ようだ かぜをひいたようだ。のどが痛い。

→第1部 G

～ようになる

→第1部 G

～ようになっている

→第1部 11課-②、第1部 G

～ようにする・～ようしている

れんしゅう
練習1□ もつと てきとう えら
から最も適当なものを選びなさい。

a ような b ように c ようだ

- 1 祖母ががまん強かつた()母もよくがまんする。
- 2 みんなが心配している()問題点は、もう解決したのではないだろうか。
- 3 兄の話し方は実際に自分で見てきたかの()から、とても面白い。
- 4 いつも言っている()しっかり食べることは生活習慣の基本なのです。
- 5 話し合ったことを忘れない()今すぐノートに書いておいたほうがいい。
- 6 わたしの今の立場がまるで王様の()とは、だれも思わないだろう。
- 7 もっと字をていねいに書く()注意されてしまった。
- 8 わたしの日本語の発音はフランス語の()と言われた。
- 9 この本は、だれでも簡単に人形が作れる()ていねいに説明してあります。
- 10 小さい子どもでも食べられる()メニューは何かありますか。
- 11 表からわかる()男女の大学進学率はほとんど同じになっています。
- 12 早くけがが治ります()祈っております。
- 13 かぜをひかない()外出から帰つたら手を洗いましょう。

れんしゅう
練習2てきとう ほう えら
どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 出発の時間に(a 遅れる b 遅れない)ように6時に家を出た。
- 2 この窓からよく(a 見る b 見える)ように窓のそばに桜の木を植えた。
- 3 よく(a 聞く b 聞こえる)ように、マイクを使いましょう。
- 4 希望の大学に(a 入れる b 入る)ようにと神様にお願いした。
- 5 部長から連絡が(a ある b あつた)ように、今日の会議は2時からです。
- 6 父が喜んで(a の飲みそうな b の飲むかのような)お酒を買ってきました。
- 7 母は地震の後も何もなかつたか(a のように b ように)落ち着いていた。
- 8 妹はケーキやあんパン(a のような b らしい)甘い物ばかり食べている。



ワンポイントレッスン 「～ように」と「～ために」

◎()の中に「ように」か「ために」を書きなさい。

- 1 汚れをきれいに落とす()、特別な洗剤を使ってみた。
 - 2 汚れがきれいに落ちる()、特別な洗剤を使ってみた。
 - 3 この本は、簡単に漢字が覚えられる()、説明が工夫されている。
 - 4 漢字をしっかり覚える()、一つの漢字を何度も紙に書いた。
 - 5 覚えた漢字を忘れない()、ときどき復習している。
 - 6 かぜが早く治る()、ビタミンCをたくさんとっています。
 - 7 自分の店を持つという夢を実現する()、会社を辞めた。
 - 8 太陽の光が部屋いっぱいに入る()、カーテンを大きく開けてください。
 - 9 大学に入る()、わたしはたくさんの準備をしなければならなかつた。
 - 10 子どもがいたずらをしない()、書類をきちんと片付けておこう。
- ▼

～ように：そうなってほしい状態。話者の意志を含まない動詞（無意志動詞・可能の意味の動詞・三人称が主語になる動詞など）につく。動詞の辞書形・ない形につく。

Expresses preference that a particular thing happens. Affixed to verbs that do not include the intention of the speaker (non-volitional verbs, verbs expressing possibility, and verbs for which the subject is a third person). Affixed to the dictionary form of the verb and its ない form.

表示说话人希望实现的状态，接在非意志动词（无意志动词、表可能义的动词、第三人称做主语的动词等）的原形或ない形后面。

- 例・試合でいい成績が残せるように、みんながんばって練習している。
・子どもがたくさん野菜を食べるように、料理をいろいろ工夫している。

～ために：そうしようという行為の目的。話者の意志を含む動詞の辞書形につく。

Indicates the purpose of an action. Affixed to the dictionary form of a verb expressing the will of the speaker.
表示行为的目的，接在表示说话人的意志的有意志动词的原形后面。

- 例・試合でいい成績を残すために、みんながんばって練習している。
・食材をむだなく食べるために、料理をいろいろ工夫している。